

〔例題 1〕 特定秘密保護法に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. 特定秘密保護法は、国の安全保障上重要な情報を「特定秘密」として指定し、その漏えい防止を図るものである。特定秘密の指定対象は、分野が限定されておらず、あらゆる分野における情報である。
- イ. 特定秘密を漏えいした公務員に対しては、従来の守秘義務違反よりも罰則が強化されたが、処罰対象はあくまで公務員のみであり、防衛産業など業務上政府と契約した民間業者等を除き、民間人が処罰されることはない。
- ウ. 国民の知る権利への制限が懸念されることから、知る権利の保障に資する報道・取材の自由への配慮が明記され、また、報道機関の取材についても違法又は著しく不当な方法でない限り正当な業務とされた。
- エ. 特定秘密の指定の妥当性を検証するため、当該省庁から離れて中立的に判断できる第三者機関を複数設置することになっている。いずれの第三者機関も、国家機関に属さない民間有識者から構成され、秘密の中身を見て審査する。
- オ. 特定秘密保護法制定の背景には、国家安全保障会議（日本版 NSC）の設置がある。政府の外交・安全保障政策の司令塔となる国家安全保障会議が機能を発揮するためには、法律による秘密保全が重要とされたからである。

- 1. ア, イ
- 2. ア, オ
- 3. イ, エ
- 4. ウ, エ
- 5. ウ, オ

〔例題2〕 様々な鉱産資源の分布や利用に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものがあるが、それらはどれか。

ア. 鉄鉱石は、中国、オーストラリア、ブラジルが主要な産出国である。このうち中国は、世界最大の鉄鉱石輸入国でもあり、鉄鋼の生産についても世界第1位である。

イ. 銅鉱は、産出・精錬ともに中国が世界の3分の1程度を占めて世界第1位であり、第2位以下のチリやペルーを大きく引き離している。精錬された粗銅の消費国は、日本やアメリカなど先進工業国が占めている。

ウ. ボーキサイトは、オーストラリアが世界最大の産出国である。精錬してアルミニウムをつくる際、電力等のエネルギーは少なく済むが、高度な技術が必要であるため、ボーキサイトのほとんどは日本とドイツに輸出されている。

エ. レアメタルは非鉄金属のうち、流通量・資源量の少ない希少な金属である。半導体や特殊合金などの材料として先端技術産業に不可欠であるが、偏在が著しく、中国、南アフリカ、ロシアが主要な産地であるものが多い。

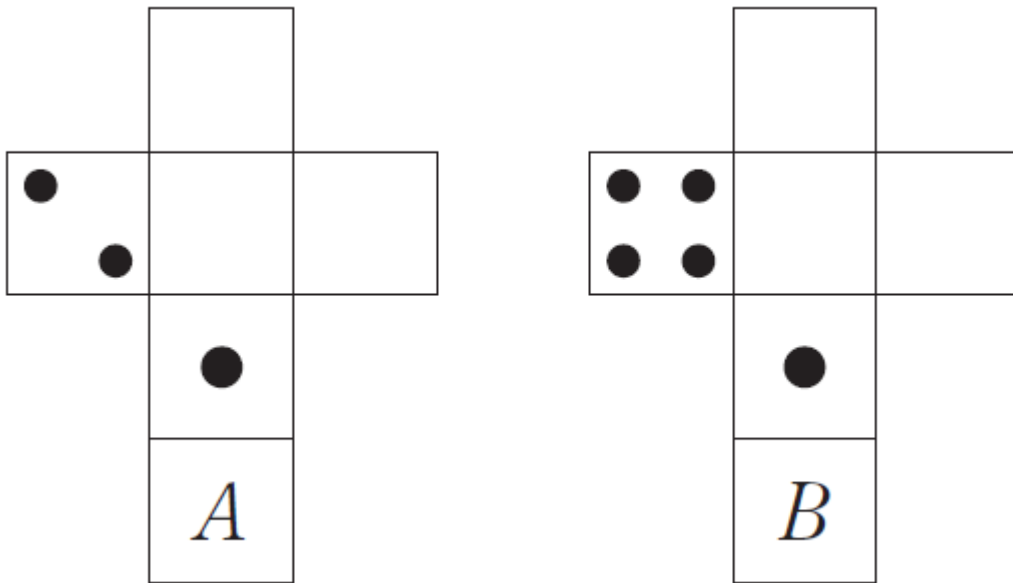
オ. レアアースはレアメタルの一種であり、各種電子製品の性能向上に不可欠である。かつて日本は世界最大のレアアース輸入国であったが、近年は日本の排他的経済水域内の海底からの採取が本格化し、ほぼ自給が実現している。

1. ア, ウ
2. ア, エ
3. イ, エ
4. イ, オ
5. ウ, オ

〔正答2〕

〔例題3〕目の配置が同じ2個のサイコロの展開図を作ったところ、図のようになつた。図中に示す4か所の目が分かっているとき、A、Bの目の組合せは2通りあるが、これについて正しく言えるのはどれか。

ただし、サイコロの向かい合う面の目の合計は7であり、展開図の折り目はすべて山折りである。



1. $A = 3$ のときには $B = 3$ である。
2. $A = 3$ のときには $B = 5$ である。
3. $A = 4$ のときには $B = 2$ である。
4. $A = 4$ のときには $B = 3$ である。
5. $A = 4$ のときには $B = 5$ である。

〔正答5〕